東北地方整備局　災害現地対策本部

H22.3.15　東北地整 No. 109
災害現地対策本部　活動通信

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

【3月15日16時　災害現地対策本部情報】

1. 防災情報連絡調整会議が行われました

・本日、栗原市役所内において「第14回迫川流域に係る防災情報連絡調整会議」が行われました。

・融雪期における監視体制について、センサーの設置が5月末となることから、カメラと水位計によって監視を行うことが確認されました。

・迫川流域の避難基準については現在も継続中ですが、今年は融雪注意報は避難基準に含まないこととなりました。

・土砂災害警戒情報の暫定基準について、平成22年5月27日をもって解除される予定です。（同日から、地区毎の詳細な気象情報が提供されることとなるため）

2. 第179回災害対策本部会議

・本日、第179回災害対策本部会議が開催されました。

・各関係機関から工事の進捗状況、今後の見込みについて報告がありました。

・馬場駒ノ湯線のゲートを平成22年4月1日に解除することが確認されました。

・3/13,14日と福島県沖を震源とする地震が発生しましたが、栗原市及び関係機関に被害はありませんでした。

3. 工事実施状況

・浅布地区　：　流路工・帯工完成（3/11）

・小川原地区：（上流工区）流路工完成（3/10）

→全工区完成

施工状況　（浅布地区）



施工状況　（小川原地区）

